

—平成30年度—

〈募集要項〉

神奈川県環境インターンシップ “研修生”を募集しています！

神奈川県では、企業や大学の皆様のご協力をいただき、「環境インターンシップ研修」を実施しています。

この研修は、大学生や大学院生が、環境に関する取組を積極的に行っている企業での業務を体験することで、環境問題に関する知識や、その解決に必要な意欲・実践的能力を身につけてもらうことを目的に実施しています。

企業活動においても経営と環境との両立が求められています。企業における環境問題に対する取組や考え方はどのようなものなのでしょうか？

環境問題の解決につながる「ヒント」を皆さん自身で見つけてください。ご応募お待ちしております！

環境インターンシップとは

目的	 <p>大学生又は大学院生に、インターンシップ研修生として、環境に関する取組を積極的に行っている企業での業務を体験してもらうことにより、環境保全や環境問題の解決に必要な意欲及び実践的能力を有する人材を育成することを目的としています。</p>
対象	【研修生】 神奈川県内にキャンパスを有する大学に在籍する大学生及び大学院生 (企業での研修及び県主催の報告会に原則全日程参加できる方) 【受入先企業】 環境に関する取組を積極的に行っている企業
研修内容	環境に関する取組を積極的に行っている企業において、環境問題やそれを解決するための企業の諸活動について学び、問題解決に向けた意欲や実践的能力を身につける。 例)・企業における独自の ISO の取組の学習や監査業務の体験 ・環境に配慮した製品づくりの企画・提案 など
研修実施期間	原則、平成30年7月下旬から9月30日の期間内において10日間程度(応相談)
研修実施の流れ	4～6月上旬 研修生の募集(大学で取りまとめ、県に申込み) 6月上旬 大学からの申込み情報を、県から受入先企業に提出 ～7月下旬 ⇒ 受入先企業は受入れ可能な学生を決定、県に報告 ⇒ 県は受入先企業及び大学にマッチング結果を送付 ⇒ 受入企業と研修生は研修日時・内容等の詳細を調整 7月下旬～9月 研修の実施 9月末 研修生は、「修了レポート」を県に報告(県から受入企業へ送付) 受入先企業は、「評価書」を県に提出(県から大学へ送付) 10月11日(木)又は18日(木) 学生・受入先企業等による報告会を開催
費用負担	研修生は無給。 研修に係る交通費、出張旅費など全ての経費は、研修生個人又は派遣大学が負担する。
服務	研修生は、研修期間中、受入先の服務規律に従うとともに、受入先の担当者の指導、監督等に従うほか、秘密保持の義務を負う。

スケジュール

時期		県	受入企業	大学	学生
4月～6月上旬	研修生の募集	◆大学に募集要項及び受入一覧企業一覧を送付し、研修生の募集を依頼		◆学内で研修生を募集	◆大学と協議・相談の上、受入企業を選択
		(◆推薦書等を受領、内容確認)		◆参加希望の学生がいる場合、応募用紙、推薦書、エントリーシートを県に提出 様式2 様式3	◆エントリーシートを大学へ提出 様式4
			[* 詳細な条件等に関する大学からの問合せに対応]	[* 必要に応じ、詳細を企業に問合せ]	[* 必要に応じ、詳細を企業に問合せ]
6月上旬～7月下旬	マッチング作業	◆受入企業に、推薦書とエントリーシートを送付	(◆受領)		
		(◆報告を受ける)	◆受入可否を決定、県に報告 [* 必要に応じて、学生に関する情報を大学に問合せ]	[* 学生に関する問合せに対応]	
		◆受入先の報告を受け、マッチング結果を受入企業及び大学に送付	(◆受領)	(◆受領、学生へ連絡)	(◆研修先の決定)
	事前調整		◆学生と実施日時・内容等を調整、決定		◆企業と実施日時・内容等を調整
		(◆受領、大学に1部送付)	◆「実施計画」を作成、県に送付 様式5	(◆受領)	
	(◆協力)	(◆受領)	◆「覚書」及び「誓約書」を企業に提出(必要がある場合)	◆「覚書」及び「誓約書」を大学に提出(必要がある場合) 様式6 様式7	
7月下旬～9月	研修の実施	◆必要に応じ、企業・学生をサポート	(◆実施)		(◆実施)
		(◆受領、大学に1部送付)	◆やむを得ず中止する場合、県に「中止決定」を連絡 様式8	(◆受領)	
9月末頃	成果の評価	(◆受領、受入先企業及び大学に各1部送付)	(◆受領)	(◆受領)	◆「修了レポート」を作成し県へ提出 様式9
		(◆受領、大学及び学生に各1部送付)	◆「評価書」を作成、県に送付 様式10	(◆受領)	(◆受領)
	公表の結果の	◆実施結果を県のHP等で公表			
	報告委員会	◆報告会等を開催(10月中旬)	(◆参加)	(◆参加)	(◆参加)



平成30年度 受入企業【15社】

	株式会社大川印刷	小田原ガス株式会社	管清工業株式会社	
主な事業内容	印刷全般	ガス業	下水道道路施設維持管理業	
実習テーマ/ 内容	<p>◆SDGsを取り入れ、印刷業務を通じて工場内のゼロエミッションに向けた環境配慮・これからの社会の考え方を学ぶ。</p> <p>◆社会課題を自らの意識・気づいたことから社内へ発信、提案力をつける。</p>	<p>◆小田原地域でエネルギーの地産地消事業を展開している小田原・箱根エネルギーコンソーシアム（小田原ガス・榑古川・ほうとくエネルギー・湘南電力）による都市ガスやプロパンガス、電力事業、発電事業等のエネルギーに関する研修を実施します。</p>	<p>◆下水道管路管理 現場実習（施工補助）</p> <p>・屋内外排水管の調査（ファイバースコープ・TVカメラ等）、清掃（詰まり、定期）、補修工事（現場作業）など</p> <p>・公共下水道管路施設の調査（目視・TVカメラ等）、清掃（特殊車両）、補修工事（管内非開削更生作業）など</p>	
実習地	<p>本社：横浜市戸塚区上矢部町2053</p> <p>営業所：横浜市西区高島2-14-12-3階</p>	<p>本社（神奈川県小田原市扇町1-30-13）</p>	<p>世田谷区上用賀1-7-3/横浜市旭区川井本町66</p>	
受入期間	8月1日から9月30日までの間、10日程度	8月20日から8月24日までの間、4日程度	8月1日から9月30日までの間、10日程度	
事前説明会	なし	なし	なし	
受入可能人数	1～2名	4名程度	各箇所1名	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	環境・社会貢献など、色々なことに興味がある方	特になし	<p>夏場の現場作業は大変です。明るく元気で真面目な方を希望します。通勤に支障のない方を優先します。</p> <p>作業着・安全靴を貸与しますので、服・靴のサイズをお知らせください。</p>	
連絡先	担当部署	総務部	総務・経理チーム	管理本部 人事課
	担当者名	田中 雄三	石井 充	峰岸・石川
	電話	045-812-1131	0465-32-2777	03-5730-2882
	ファクシ	045-812-1135	0465-35-0064	03-5730-2880
	E-mail	tanaka@ohkawa-inc.co.jp	soumu@odawaragas.co.jp	info-kyujin@kansei-pipe.co.jp
環境インターンシップ受け入れ実績	平成29年度:2名	平成29年度:2名 平成28年度:4名	平成29年度:2名	

	生活協同組合パルシステム 神奈川ゆめコープ	株式会社総合環境分析	太平洋セメント株式会社	
主な事業内容	無店舗供給事業、共済事業、 福祉事業、電力事業	水質測定等、その他各種実 験及び試験	セメント事業、環境事業、資 源事業、海外事業、その他	
実習テーマ/ 内容	テーマ：生協業務を通してパルシ ステムの環境活動を知る ◆主な実習内容：環境活動の取組 みの学習（座学） ◆組合員拡大（営業）の補助・供 給（配送）の補助 ◆組合員活動運営の補助	◆上水・環境水・事業所排 水・土壌の環境分析 【主な分析項目】ノルマルヘ キササン抽出物質、一般細菌検 査、大腸菌検査、pH、SS 【その他】現場測定、サンプ リング業務（業務の都合によ る）	テーマ：資源循環社会における セメント産業の役割 ◆当社の事業概要紹介（廃棄物 のセメント資源化など） ◆セメント工場の見学（熊谷工 場または埼玉工場の予定） ◆出前授業体験（小学生向けワ ークイベント） ◆グループワーク など	
実習地	当組合事務所[新横浜・県内各セ ンター]、産地[小田原]	横浜本社：神奈川県横浜市緑 区鴨居 1-13-2	本社：東京都港区台場 2-3-5 台場ガーデンシティビル 工場：（熊谷工場）埼玉県熊谷 市三ヶ尻 5310 または（埼玉工 場）埼玉県日高市原宿 721	
受入期間	7月 30 日から8月 11 日までの 間、6日程度	8月下旬から9月上旬までの 間、14日程度	7月下旬から8月上旬までの 間、5日程度	
事前説明会	なし	なし	なし	
受入可能人数	4名	1～2名	4名	
参加学生に求 める資格や条 件、注意事項	生活協同組合パルシステム（グル ープ）に興味のある学生 ※学業の部門・学年は不問です が、全日程参加できる方	特になし	特になし	
連 絡 先	担当部署	管理部 人事課	総務部	環境事業部 営業企画グループ
	担当者名	中山 駒子	神山 敬之	濱崎 琴美
	電話	045-470-4571	045-929-0033	03-5531-7417
	ファックス	045-470-4171	045-929-0039	03-5531-7608
E-mail	palkanagawa-saiyou@pal.or.jp	kamiyama@s-kb.co.jp	kotomi_hamasaki@taiheiyo-cement.co.jp	
環境インター ンシップ 受入れ実績	平成 29 年度：4名、平成 28 年度：3名 平成 27 年度：6名、平成 26 年度：4名 平成 25 年度：3名、平成 24 年度：4名 平成 23 年度：4名、平成 22 年度：5名	平成 29 年度：3名 平成 28 年度：4名	新規	

	株式会社ディグ（関連会社ミノリソリューションズ株式会社）	東鉄工業株式会社	中日本高速道路株式会社	
主な事業内容	印刷、企画、システム開発、環境ソリューション事業	建設事業、不動産事業、その他事業（線路・土木・建築・環境等の各事業）	高速道路ネットワークの建設事業、保全・サービス事業及びサービスエリア事業など	
実習テーマ/内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆企業経営に役立つ「環境経営マネジメント」の理解 ◆ITを活用した環境ソリューションビジネスの理解 「環境関連ビジネスモデルの検討」などの課題検討 ◆社外の方を招いての発表会 	<p>（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆暑熱対策技術の効果測定および評価の実地作業。 ◆緑化事業における植栽の選定や植え替えの実地作業。 ◆太陽光発電所の仕組みやメンテナンス法の実地解説。 ◆SDGsを念頭に据えた環境ビジネスの立案補助。 ◆実際の現場視察を通じた品質の評価。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆当社の事業概要（建設、保全、サービスエリア事業など）紹介、各事業に関する現場見学（環境に関する取組を含む）、現場での実習、グループワークなど 	
実習地	東京都中央区湊 2-8-7	本社：（東京都新宿区信濃町）、 関東近郊の当社施設：（茨城、埼玉等）	東京都港区、川崎市宮前区、東京都八王子市	
受入期間	7月下旬から9月30日までの間、10日程度	7月20日から9月30日までの間、5日程度	8月上中旬から、5日間	
事前説明会	あり	なし	なし	
受入可能人数	4名	1名	3名	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	特になし	特になし	高速道路事業に興味があり、積極的に取り組む意欲のある方。 エントリーシートアドレスは、連絡先に使用しますので、丁寧に記載をお願いします。特に0（ゼロ）とo（オー）、1（いち）とl（エル）等。	
連絡先	担当部署	代表取締役	環境本部	東京支社 企画調整チーム
	担当者名	杉井 康之	荒井 幸司	田中 拓也
	電話	03-3551-3060	03-5369-7614	03-5776-5600
	ファックス	03-3555-8684	03-5369-7642	03-5776-5340
	E-mail	sugii@dig-inc.co.jp	koujiarai@totetsu.jp	kikaku-tokyo@c-nexco.co.jp
環境インターンシップ受け入れ実績	平成29年度：2名、平成28年度：1名 平成27年度：2名、平成26年度：2名 平成25年度：2名、平成24年度：2名 平成23年度：4名、平成22年度：3名 平成21年度：2名、平成20年度：4名	新規	平成29年度：3名、平成28年度：5名 平成27年度：5名、平成26年度：5名 平成25年度：4名、平成24年度：6名 平成23年度：5名	

	パシフィックコンサルタンツ株式会社	株式会社日立製作所 システム&サービスビジネス	プリンス電機株式会社
主な事業内容	建設コンサルタント（各種プロジェクトの企画、立案、設計、マネジメントなど）	IT（情報通信分野）事業部門	施設・機器照明のLED、蛍光灯ランプ等を開発・製造・販売
実習テーマ/内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活環境・自然環境の調査・予測、環境アセスメント・生物多様性関係の報告書とりまとめ等 ◆廃棄物管理計画全般 ◆温暖化政策・気候変動影響の調査分析、エネルギープロジェクト検討等 ◆上下水道施設の設計・調査・計画・アセットマネジメント等 ◆地盤工学や応用理学に関する解析、調査等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆IT事業の部門において、製品での環境配慮の状況を理解した後、環境製品や環境活動へのアイデアを提案する 1) 規則：情報セキュリティ規則の理解と順守 2) 講義：ISO規格関連、環境管理、環境関連法令解説と順守の仕組み、環境活動と管理実務、資源循環・製品回収の概要、製品開発での環境配慮（ハードウェア・ソフトウェア） 3) 見学：エコファクトリー・エコオフィス・日立ITエコ実験村 4) 実習：製品・サービスのCO2排出量算定：LCA評価 5) 提案・発表：『環境活動と気候変動に対応する解決策』 	<p>テーマ：自社(私)を活かした環境・社会活動と広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域や学校への環境教育活動やマスコミ広報を実施している企画業務部企画課での研修と実習。 ◆ISO14001(環境)、ISO9001(品質)、OHSAS18001(労働安全衛生)、横浜型地域貢献企業規格、4つのマネジメントシステムを運用する当社の環境・社会活動を知る。 ◆環境コミュニケーション広報の実践（報道リリース作成や取材受け、環境団体等の訪問、活動冊子の作成） ◆環境・社会活動の構想と計画。他、工場見学など。
実習地	東京オフィス：（東京都千代田区神田錦町三丁目22番地）	品川区南大井6-27-18 日立大森第二別館	本社：（横浜市鶴見区市場下町8-25）
受入期間	7月から9月の間で応相談（8月中旬は除く）	9月3日から9月10日までの間、6日程度	8月27日から9月10日までの間、6日程度
事前説明会	なし	あり（8月1日）	なし
受入可能人数	4～5名	1～2名	3名
参加学生に求める資格や条件、注意事項	環境、廃棄物、環境・エネルギー・温暖化対策、上下水道、地盤技術分野に興味があり、建設コンサルタントに進みたい方	環境人材育成を旨とする東京都のECOTOPプログラムの研修生と一緒に研修するので、環境への熱意と知識があること。	学部専攻不問。 報道媒体や冊子等の広報で写真等の掲載が可能な方。
連絡先	担当部署	人事部	システム&サービスビジネス統括本部 環境推進本部
	担当者名	今野 優海	臼見 元恵
	電話	03-6777-3045	03-5471-2745
	ファクシミリ	03-3296-0550	03-5471-2746
	E-mail	internship@tk.pacific.co.jp	motoe.usumi.jj@hitachi.com
環境インターンシップ受け入れ実績	新規	平成27年度：7名	平成29年度：2名

	株式会社 JVC ケンウッド	RAUL 株式会社	TOTO 株式会社 茅ヶ崎工場
主な事業内容	オートモーティブ製品、オーディオ類、カムコーダー、無線機器等の開発、製造、販売など	WEB コンサルティング	新製品の開発・研究、システムトイレの製造
実習テーマ/内容	<p>◆社内向け環境研修資料作成。</p> <p>資料作成に向けて、以下の内容の研修、体験など</p> <p>企業の環境保全への取組み紹介/環境関連の法令/製品の法令/環境配慮商品の設計・管理、環境感性の育成、等</p> <p>◆環境出前授業の手伝い（要請が入った場合）等</p>	<p>◆環境、エネルギー関連の調査</p> <p>◆記事執筆</p> <p>◆プレゼン発表 等</p>	<p>EMS を中心とした企業における活動内容を実践現場で体験しスキルをマスターする。</p> <p>◆弊社環境マニュアル、規定類の説明と自習</p> <p>◆エコ商品を通じた企業の環境への取り組み体験</p> <p>◆振動騒音測定、排出物分別指導の実施</p> <p>◆役所への届出関連や施設パトロール</p> <p>◆環境貢献活動（周辺清掃等）</p>
実習地	本社：（横浜市神奈川区守屋町3-12）	東京都新宿区新宿 2-9-22 多摩川新宿ビル3階	茅ヶ崎工場内：（神奈川県茅ヶ崎市本村 2-8-1）
受入期間	7月 31 日から8月 10 日又は8月 21 日から8月 31 日の間、5日から7日程度	7月 20 日から9月 30 日までの間、10日程度	8月 2日から8月 7日までの間、4日程度
事前説明会	なし	あり	なし
受入可能人数	2名	5名	3名
参加学生に求める資格や条件、注意事項	エクセル、ワード、パワーポイントが使用できる方。	環境問題やマーケティングに関心のある方	大学1年生および大学2年生
連絡先	担当部署	Web コンサルティング事業部	安全環境グループ
	担当者名	鉢呂 晶子	高橋 明彦
	電話	045-444-5380	0467-54-1048
	ファクシ	045-444-5459	0467-54-1176
E-mail	hachiro-akiko@jvckenwood.com	masaaki.mori@ra-ul.com	akihiko.takahashi@jp.toto.com
環境インターンシップ受け入れ実績	平成 29 年度:3名	平成 29 年度:2名	平成 29 年度:2名 平成 28 年度:3名 平成 27 年度:3名 平成 26 年度:3名

平成29年度実施結果

受入先(実施期間)	学生	インターンシップの主な内容
小田原ガス株式会社 (8月21日から8月24日の間で4日間)	桐蔭横浜大学(スポーツ健康政策学部) 東海大学(工学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当社の事業概要(供給部門・営業部門等) ◆ 各業務に関する現場研修、現場実習(エコクッキング等) ◆ ほうとくエネルギー事業の概要、ソーラー発電施設見学等
株式会社大川印刷 (8月7日から8月19日の間で7日間、9月4日から9月8日の間で5日間)	関東学院大学(人間環境学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当社を通して見た、様々な環境配慮とは？ 人、モノ、自然などの地域の問題を当社の取組からコトづくり、モノづくりを考案し、CSV(Creating Shared Value)を学ぶ。
株式会社 JVC ケンウッド (8月24日から9月1日の間で7日間)	東京工芸大学(工学部) 東京都市大学(環境学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小学生向け環境出前授業の講義資料作成(題材:小型家電リサイクル)、リサイクル業者の見学 ◆ 出前授業体験(オファーがあった場合) ◆ 製品の法規制/環境配慮商品の設計・管理に関する研修 ◆ 社内環境イベントの補助、他
株式会社総合環境分析 (8月28日から9月8日の間で10日間)	東海大学(工学部) 東京工芸大学(工学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 上水・環境水・事業所排水・土壌の環境分析 【主な分析項目】ノルマルヘキサン抽出物質、一般細菌検査、大腸菌検査、pH、SS 【その他】現場測定、サンプリング業務
株式会社ディグ(関連会社ミノソリューションズ株式会社) (8月7日から8月18日の間で9日間)	関東学院大学(法学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 企業経営に役立つ「環境経営マネジメント」の理解 ◆ ITを活用した環境ソリューションビジネスの理解 ◆ 「環境関連ビジネスモデルの検討」などの課題検討 ◆ 社外の方を招待しての発表会
管清工業株式会社 (8月21日から9月1日の間で10日間)	神奈川大学(理学部) 東京工芸大学(工学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 下水道管路管理 現場実習(施工補助) ・ 屋内外排水管の調査(ファイバースコープ・TVカメラ等)、清掃(詰まり、定期)、補修工事(現場作業)など ・ 公共下水道管路施設の調査(目視・TVカメラ等)、清掃(特殊車両)、補修工事(管内非開削更生作業)など
生活協同組合パルシステム 神奈川ゆめコープ (8月2日から8月9日の間で6日間)	東京都市大学(環境学部) 東京農業大学(国際食料情報学部) 明治大学(農学部) 横浜国立大学(大学院環境情報学府)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ テーマ:生協業務を通してパルシステムの環境活動を知る ◆ 主な実習内容: ・ 環境活動の取組みの学習(座学) ・ 環境配慮型センターの見学(リサイクルセンター) ・ 組合員拡大(営業)の補助・供給(配送)の補助 ・ 組合員活動運営の補助
TOTO 株式会社 茅ヶ崎工場 (8月21日から8月23日の間で3日間)	青山学院大学(理工学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ EMSを中心とした企業における活動内容を実践現場で体験しスキルをマスターする。 ・ 当社環境マニュアル、規定類の説明と自習 ・ エコ商品を通じた企業の環境への取組体験 ・ 振動騒音測定、排出物分別指導の実施 ・ 役所への届出関連や施設パトロール ・ 環境貢献活動(周辺清掃等)
中日本高速道路株式会社 (8月21日から8月25日の間で5日間)	神奈川大学(法学部) 東京工芸大学(工学部) 明治大学(農学研究科)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当社の事業概要(建設、保全、サービスエリア事業など)紹介 ◆ 各事業に関する現場見学 ◆ 現場での実習(環境に関する内容) ◆ グループワーク など
プリンス電機株式会社 (8月28日から9月4日までの間で6日間)	國學院大学(文学部) 東京工芸大学(工学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 私(研修生)と企業(当社)、環境・社会活動の構想を創る ・ 4つのMSで持続可能な環境・社会活動を考える。 ・ 「かながわ地球環境賞」受賞の環境教育活動を知る。(当社実施の小学校や大学、地域への環境講座が教材) ・ 活動冊子の作成や報道リリースの広報を実践する。 ・ 私と企業、環境・社会活動の構想計画シートを創る。
RAUL 株式会社 (8月28日から9月8日までの間で10日間)	北里大学(海洋生命科学部) 神奈川大学(工学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境・エネルギー関連の調査・分析 ◆ 環境の記事執筆・ウェブマーケティング体験 ◆ CSR/環境クライテリアによる企業価値のレーティング ◆ 電力会社の運営が学べるボードゲーム ◆ キュレーションメディアの作成 ◆ イベント参加・報告書作成

受入企業／学生の声

一企業担当者Aさん一

何事にもまじめで、難しい課題についても他の研修生と力を合わせて取り組み、期待以上のアウトプットをしていただきました。



一企業担当者Bさん一

意欲的な学生さんに来ていただくことで、企業側にも非常に刺激になります。改善提案もしていただき大変参考になりました。



一企業担当者Cさん一

今回のインターンシップは初めての受入で、課題設定も手探りでしたが、研修生の協力により有意義なものにすることができました。



一企業担当者Dさん一

CSRを推進する観点からも、今後も積極的に学生の実習を受け入れたいと考えます。



一学生Aさん一

一つの企業がこれだけ環境に優しくあろうと努力しているのだから、私たちも小さなことでもコツコツ環境にやさしい行動を積み重ねた方がいいと感じました。



一学生Bさん一

環境管理のための仕事は非常に責任が大きく、やりがいのあるお仕事であることを知ることができました。



一学生Cさん一

与えられた業務に対して、勤務時間内に終わらせるにはどう考えて取り組めばいいのかを考え、全体をイメージする大切さを学びました。



一学生Dさん一

就職するのがゴールではなく、自分がどのような人間として生きていくか、その場所が職場であることを学びました。

一学生Eさん一

普段の生活の中でも、今回学んだリサイクルの大切さを忘れずに、小さなことから環境保全に貢献していきたい。



一学生Fさん一

机上で学ぶだけでは感じることのできない「環境活動」の難しさややりがいというものを知ることができました。



一学生Gさん一

自分の考えを伝えることや他人の意見をくみ取りながら議論を進めることの難しさや大切さを学びました。



一学生Hさん一

働くことの中にも、お金以外のものを見いだせることができるのだということを教えていただきました。

◆問合せ先

神奈川県環境農政局環境部環境計画課環境計画グループ 担当：宮島

〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1

電話：045-210-4065（直通） ファクシミリ：045-210-8952

◆HP「神奈川県環境インターンシップ」

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f160198/p20329.html>

要領や様式はこちらのHPに掲載しています。